

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 23 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		市勢要覧作成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄	
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	市長公室	担当者名	山下 真貴子	
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進		所属班	情報広報班	(内線)	1265	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input checked="" type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		
		1	2	1	2	-	成果優先度評価結果	-	
								コスト削減優先度評価結果	-
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( <input type="checkbox"/> 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 合併前の旧町時には、4年毎に作成していたが、新市としての総合計画に基づいたまちづくりの方向性を「合志市市勢要覧」に掲載し、作成する事業である。 具体的には、市勢要覧により市のPR、企業誘致のためのPR資料として活用するものである。 【業務の流れ】 写真撮影・選定、原稿作成 【主な予算費目】人件費のみ									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 写真撮影・選定 原稿作成	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 来訪者、他の自治体、誘致候補企業	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 打合わせ回数 回 イ 取材の回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市を知ってもらう	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 配布した自治体数 件 イ 配布した誘致候補企業 件
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 計画的に実施されている	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 苦情件数 件 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 施策目標を達成している施策数割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0          0          0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円			0	0				
	(A) 事業費計	千円		0	0	0	0	0	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人				2			
	延べ業務時間	時間				260				
	(B)人件費計	千円		0	0	1,035	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	1,035	0	0	0	

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
活動指標	回数			3	20	20			目 標 合 計 値 画  22 年 度
対象指標	件数			10	5	0			
成果指標	件数			0	0				
上位成果指標	%								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
旧町においても4年ごとに町勢要覧を発行していたため、新市においても市勢要覧を発行する。  
合併協議で、作成することになっている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
紙媒体からCD-ROMやDVDなど、デジタルデータのための提供へと変わる可能性がある
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特に聞いていない

事務事業名	市勢要覧作成事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	----------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の、市勢要覧により合志市を知ってもらうことは、結果の政策が計画的に実施されている、には結びつかない。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 対象自体がはつきりせず、市民対象というわけでもないため、税金を投入して行なう必要性に欠ける。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図は適切である。今までどういう団体に配布していたか、また今後どういう団体に配布を考えているか、により対象を設定した。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 対象・目的がはつきりしないため、内容についても焦点をしぼりにくく、市の概要を理解できる要覧を作成するのは難しいと思われる。そのため、成果は期待できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 20年度単年度事業
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 総合計画策定事業。観光パンフレット。市のホームページでも市勢情報を提供している。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 人件費のみで行なっており、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 20年度単年度事業
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 紙媒体での作成の場合、一部の人のみの提供となり不公平である。ホームページ等での提供は、多数の人が閲覧可能とはなるが、対象・目的がはつきりしないため、内容を伴うものの提供ができない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 職員で作成のため、人件費のみで対応。
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	→

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	7	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )